

奈良川源流域の植物 (2011年11月)



コマツヨイグサ 茎は地をはい、花は黄色で午後には閉じる。



ヒヨドリジョウ 葉は基部が張り出し、実は赤橙色に熟す。



ヌスビトハギ 実は半円形の小節果2つからなり、衣服などにくっつく。



ツルマメ 葉は3出複葉で、マメ果には毛がある。大豆の原種。



センボンヤリ 長い花茎の先に淡褐色の冠毛が毛槍のようにつく。



リュウノウギク 葉は掌形で、舌状花は白い。



ワレモコウ 暗紅紫色の花が筒状にかたまって咲く。



ムクロジ 葉は偶数羽状複葉で、飴色の丸い袋にはいった果実ができる。



ヤマハンノキ 楕円形の果実は熟すと松笠のように開く。



ムクノキ 球形の果実は紫黒色に熟し、甘みがある。



ツルウメモドキ 黄色い果実が熟すと3つに割れて赤い種が現れる。



ヒノキ 葉裏にY字形の白い模様があり、球果ができる。



マクミ 淡紅色で4稜のある果実が裂開すると、橙赤色の種子が現れる。



ヒイラギ 若木の葉には鋭い鋸歯があるが、老木では鋸歯がなくなる。



ヤクシソウ 全体に柔らかく、葉は茎をいだき、花は黄色い。